

神戸空港第2ターミナルビル
商業店舗・空港ラウンジ運営事業者選定委員会
審査講評

2025 年 11 月 13 日

神戸空港第2ターミナルビル
商業店舗・空港ラウンジ運営事業者選定委員会

神戸空港第2ターミナルビル商業店舗・空港ラウンジ運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、募集要項（2025年9月25日公表）に示す「審査項目及び配点」に基づき、提案内容の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

2025年11月13日

神戸空港第2ターミナルビル
商業店舗・空港ラウンジ運営事業者選定委員会

委員長 清水 苗穂子
伊藤 秀和
明石 葉子
谷澤 実佐子
小沢 彰史

目次

1. 選定委員会	1
2. 審査方法	1
3. 審査結果	1
4. 審査講評・総評	3

1. 選定委員会

選定委員会の委員は、以下のとおりである。

委員長 清水 苗穂子（阪南大学国際学部 教授）
委員 伊藤 秀和（関西学院大学商学部 教授）
委員 明石 葉子（みなと法律事務所 弁護士）
委員 谷澤 実佐子（谷澤公認会計士事務所 代表 公認会計士）
委員 小沢 彰史（神戸市港湾局副局長）
（順不同 2025 年 11 月現在）

2. 審査方法

応募者が提出した応募申込書類に基づき、以下の方法により提案内容を審査した。

区分	応募数	審査方法
飲食店	3 社	書類審査
物販店	5 社	書類審査
空港ラウンジ	3 社	書類審査及びプレゼンテーション審査

3. 審査結果

2025 年 11 月 4 日及び同月 13 日に選定委員会を開催し、応募申込みのあった全 11 社の提案内容を審査した。

審査は、本事業の募集要項に示す「審査項目及び配点」に基づき実施した。

選定委員会による審査結果は、次のとおりである。

《選定事業者》

区分	選定事業者	割当区画
飲食店	日米珈琲株式会社	区画 A
物販店	関西エアポートリテールサービス株式会社	区画 B
物販店	株式会社コクミン	区画 C
空港ラウンジ	関西エアポート神戸株式会社	区画 D

別表 審査結果

※各区分における事業者名のアルファベットは、事業実施計画書の届出順。

【飲食店区分】

	魅力度	運営計画	収支計画 ・経営状況	地元企業	合計	割当区画
日米珈琲(株) (飲食A社)	152.1	94.5	73.6	50.0	370.2	区画A
飲食C社	123.9	78.2	80.9	50.0	333.0	—
飲食B社	77.8	49.1	76.8	50.0	253.7	—

【物販店区分】

	魅力度	運営計画	収支計画 ・経営状況	地元企業	合計	割当区画
関西エアポート リテールサービス(株) (物販B社)	144.9	113.5	83.2	25.0	366.6	区画B
(株)コクミン (物販C社)	133.7	104.5	60.5	25.0	323.7	区画C
物販D社	112.8	111.1	60.1	50.0	334.0	—
物販A社	113.0	95.7	85.2	0.0	293.9	—
物販E社	91.7	49.1	40.0	50.0	230.8	—

※物販D社は、希望する区画Aが飲食店1位と重複のため非選定。

【空港ラウンジ区分】

	魅力度	運営計画	収支計画 ・経営状況	地元企業	合計	割当区画
関西エアポート 神戸株式会社 (ラウンジB社)	144.1	111.0	84.0	50.0	389.1	区画D
ラウンジC社	103.6	102.4	81.8	0.0	287.8	—
ラウンジA社	106.2	97.1	81.6	0.0	284.9	—

4. 審査講評・総評

(1) 飲食店

募集区分のうち飲食店については、選定予定1区画に対して、3事業者からの応募がありました。最優秀と評価した日米珈琲株式会社の提案は、「レトロモダンな喫茶店」をコンセプトに、取扱商品はコーヒーを中心に地場産品・地元食材を利用した軽食やアルコールメニューなど幅広い取り扱いで、「神戸らしさ」を連想させる工夫が凝らされた提案内容でした。なお、区画の面積については、テイクアウト形式など複数の提案をしていただきましたが、本委員会としては、利用者が搭乗までの間、ゆっくりと飲食ができるよう区画A全体を使用する提案を採択いたしました。

(2) 物販店

募集区分のうち物販店については、選定予定2区画に対して、5事業者からの応募がありました。最優秀の評価で区画Bに選定した関西エアポートリテールサービス株式会社の提案は、神戸・兵庫のほか、関西や全国の人気菓子を取り扱う店舗で、取扱商品の充実が期待できる提案内容でした。また、地元商品の催事場所を設けたレイアウトや「神戸らしさ」を表現した空間デザインが高く評価されました。

区画Cに選定した株式会社コクミンの提案は、医薬品、化粧品、ベビー用品、日用品などを取り扱う店舗で、ターミナル全体として利用者のニーズを充足する点が高く評価されました。

なお、物販店については、区画Aのみを希望する物販D社が第2位の評価となりましたが、本委員会としては、利用者の利便性向上及び区画全体のバランスを考慮し、飲食店に区画A全体を割り当てることといたしました。

本公募の結果、既存免税店を含む物販店は3店舗となります。今後の運営にあたっては、各店舗が協調を図り、利用者の利便性及び満足度の向上に努められるよう期待しております。

(3) 空港ラウンジ

募集区分のうち空港ラウンジについては、選定予定1区画に対して、3事業者からの応募がありました。最優秀と評価した関西エアポート神戸株式会社の提案は、ビジネスクラス利用者や航空会社・アライアンスの上級会員を対象利用者とした提案で、地場産品・地元食材を利用した飲食メニューや提供サービスなど、全体としてバランスのとれた提案内容でした。特に第2ターミナルのコンセプト「海に浮かび、森を感じる」との調和が図られたデザインや、具体的かつ実現性の高い運営計画が高く評価されました。なお、今後の運営にあたっては、利用者の満足度向上のため、飲食メニューのさらなる見直しを期待しております。

(4) 総評

ご応募いただいた全ての事業者の皆様に、選定委員会として、提案にあたっての熱意とご尽力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

選定された事業者におかれましては、今後、市や空港運営者、関係機関と十分に協議の上、提案内容を着実に実行していただくことを期待しております。加えて、運営期間を通じて、継続的な改善と工夫に取り組み、空港利用者の満足度向上と、神戸空港全体の利便性向上に貢献していただくことを願っております。